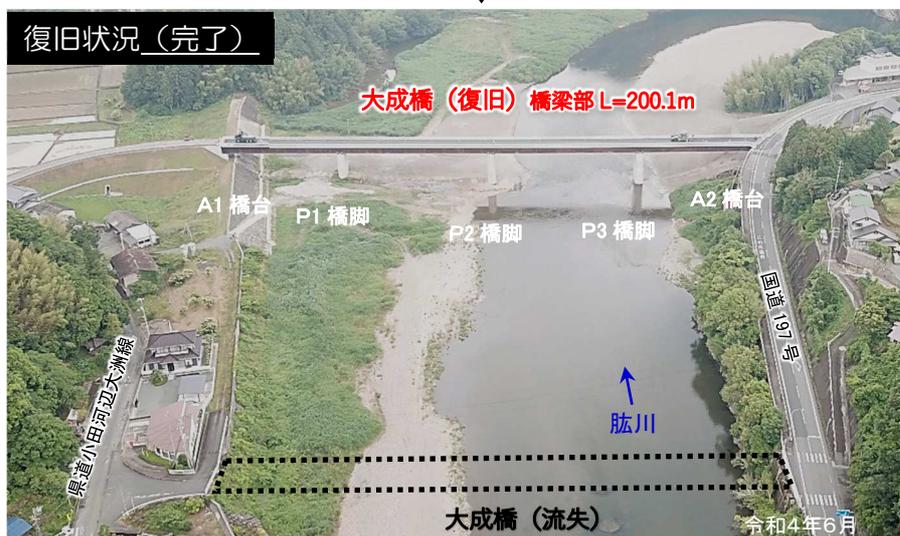
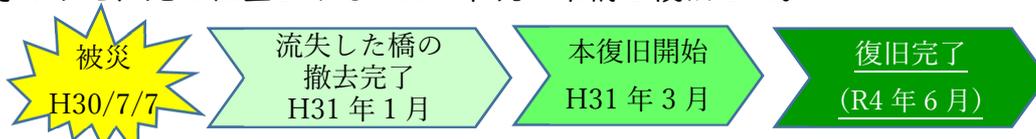


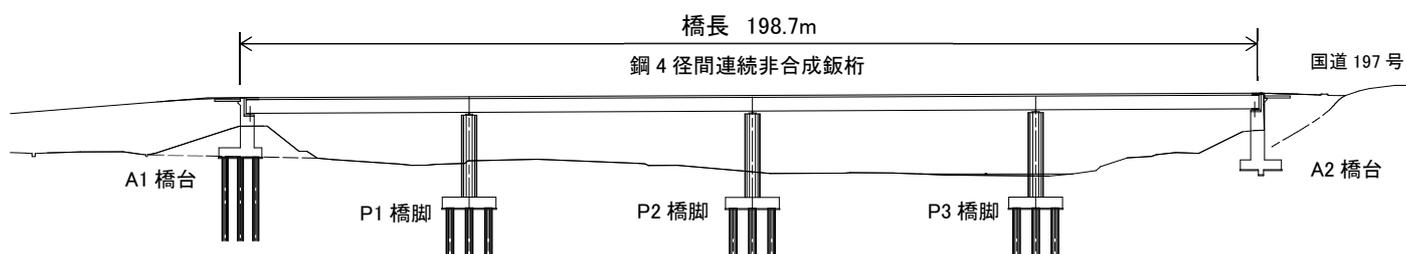
① (市道) 大成橋線大成橋 (愛媛県大洲市森山)

「大成橋」は、一級河川肱川に架かる大洲市道大成橋線の橋梁であり、地域住民の日常生活に欠かせない重要な橋梁であったが、平成30年7月7日、豪雨による肱川の急激な水位上昇により、橋脚2基が根元付近で倒壊すると共に、全ての橋桁が流失する被害を受けたため、県が大洲市からの委託を受け災害復旧事業により橋梁の架け替えを行い、令和4年6月に復旧工事が完了、同月25日に開通した。

大成橋の復旧にあたっては、洪水時に被災しないよう旧橋より5m程度高い位置に架け替えることとし、元の架橋位置では、両側で接続する国道・県道の嵩上げや、多くの住居等の移転を伴うなど、住民生活への影響が大きいことから、新たな橋については経済性も考慮のうえ、元の位置よりも185m下流に架橋し復旧した。



大成橋 側面図

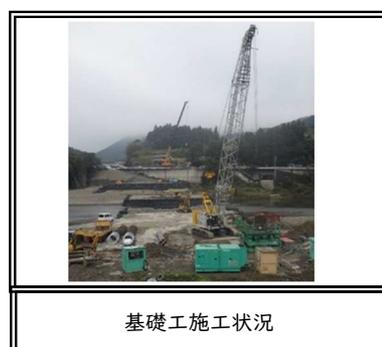


被災から復旧まで

被災状況



復旧状況



開通式典

6月25日に大成橋の開通式典が開催されました。当日は、中村知事や二宮市長らが出席し、また、地域住民の方に渡り初めをして頂き開通を祝いました。地元の自治会の代表からは「大成橋は生活に欠かせないものでしたが、4年ぶりの開通となり、ようやく日常が戻ってきた。」と喜びの声を頂きました。

